



講座名 糖尿病・生活習慣病予防講座

英文講座名 Department of Prevention of Diabetes and Lifestyle-related Diseases

演題名：データベースを用いたコロナ禍の他疾患の診療に対する影響の評価

演者名：山口聡子¹、岡田啓¹、須永真司²、倉川佳世¹、山内敏正³、南学正臣⁴、門脇孝^{1,3,5}

¹ 東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・生活習慣病予防講座

² 調布東山病院

³ 東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科

⁴ 東京大学大学院医学系研究科 腎臓・内分泌内科

⁵ 虎の門病院

はじめに

世界的に、COVID-19によるパンデミック(コロナ禍)が医療に与えた影響は甚大であり、COVID-19感染症以外の疾患の診療においても多岐に渡って大きな影響が報告された¹⁻³。我が国でも、特にコロナ禍の初期には受診控えや予定手術の延期などを含めた大きな影響があったが、その詳細な実態は明らかではなかった。

本研究では、データベースを用いて、コロナ禍初期の一般診療に対する影響を俯瞰的に評価した。

方法

- ・DPCデータおよびレセプトデータを含むMedical Data Vision社のデータベースを用いた。
- ・匿名化された26の病院を2017年1月～2020年11月の間に受診した患者785,495名を対象とした。
- ・月別の件数(退院件数、処置件数、処方件数など)をコロナ禍前の同時期と比較した。
- ・入院については、退院件数を集計し、病名はDPC病名の「医療資源を最も投入した傷病名」を用いた。

結果

- ・新型コロナウイルス感染症の退院件数は、日本のCOVID-19陽性者数と相関しており、日本の状況を反映している可能性が高いと考えられた(図1)
- ・退院件数は、全体では2020年5月に前年比で最も減少しており、特に小児科で著しく減少していた(図2)
- ・外来受診件数は、全体では2020年5月に最も減少しており、小児科が最も減少していた(図3)
- ・診療科別の入院内訳では、小児科はもともと呼吸器疾患の比率が高く、コロナ禍以降著減しており、内科でも呼吸器疾患の減少が目立った。循環器疾患、消化器疾患は一過性に減少しその後回復、悪性新生物は著変なかった(図4)
- ・内視鏡件数、外来リハビリ件数は著減していたが、外来化学療法、維持透析、入院リハビリは著変なかった(図5)
- ・外来処方件数は2020年5月に減少しており、糖尿病治療薬、精神疾患治療薬、呼吸器疾患治療薬では2020年4月に処方日数が延長していた。抗悪性腫瘍薬の処方日数は変わらなかった(図6)

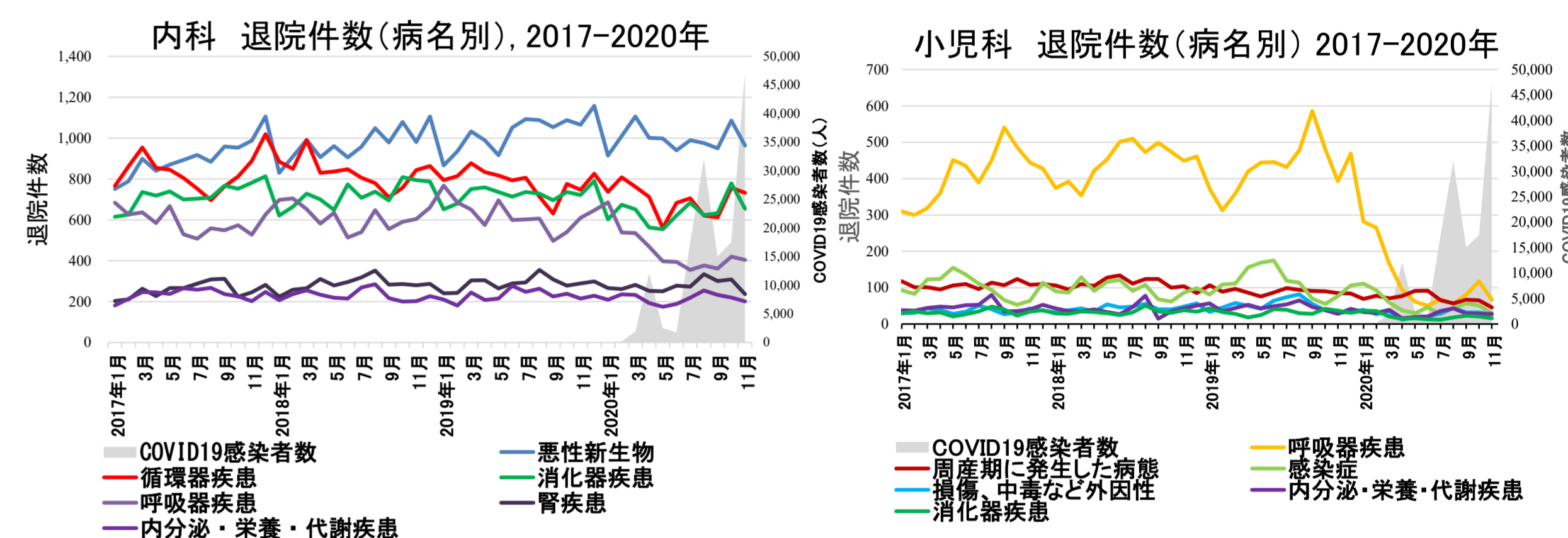


図4. 診療科別の入院内訳 (2017-2020年)

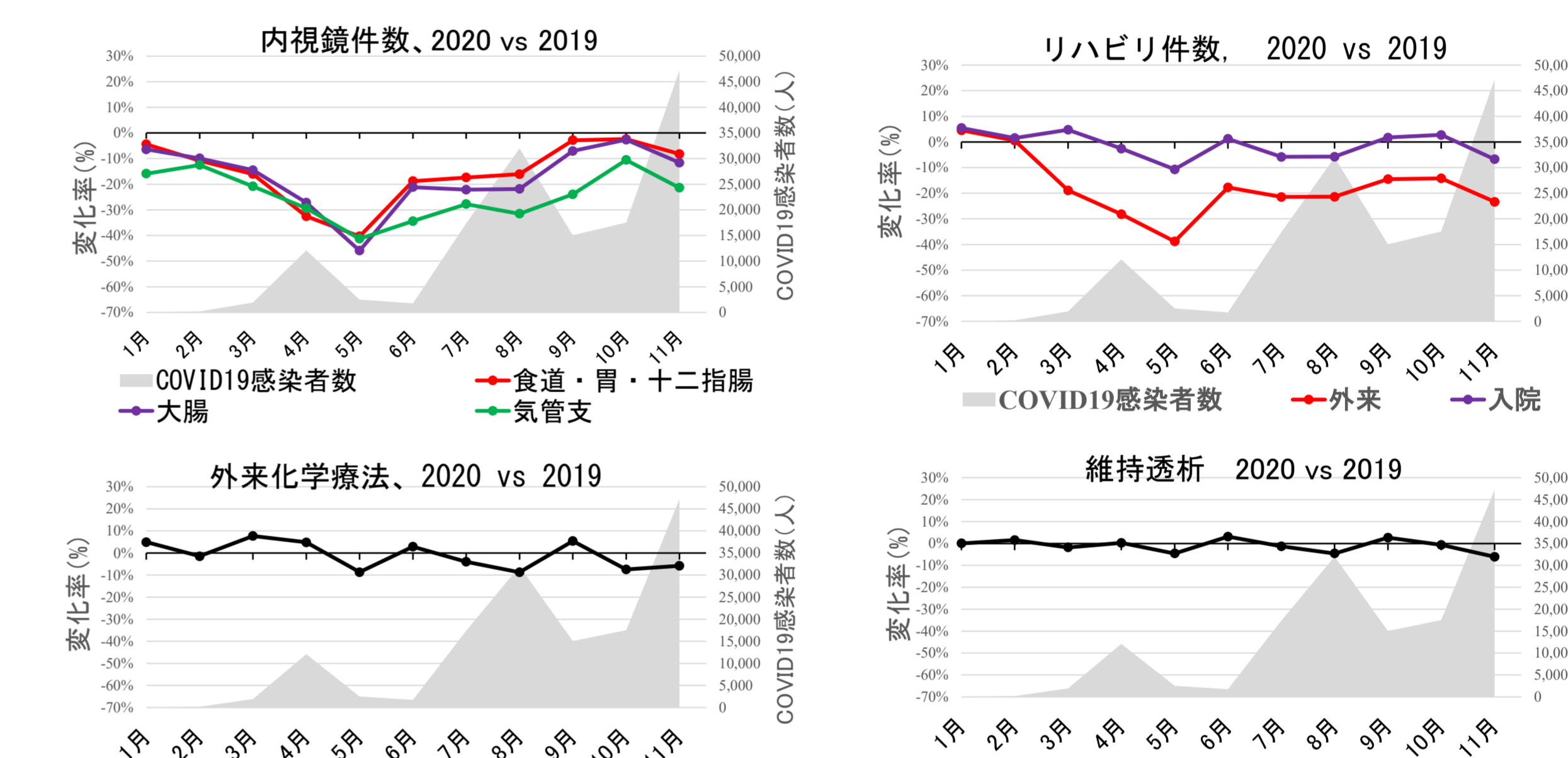


図5. 内視鏡、リハビリ、外来化学療法、維持透析の件数

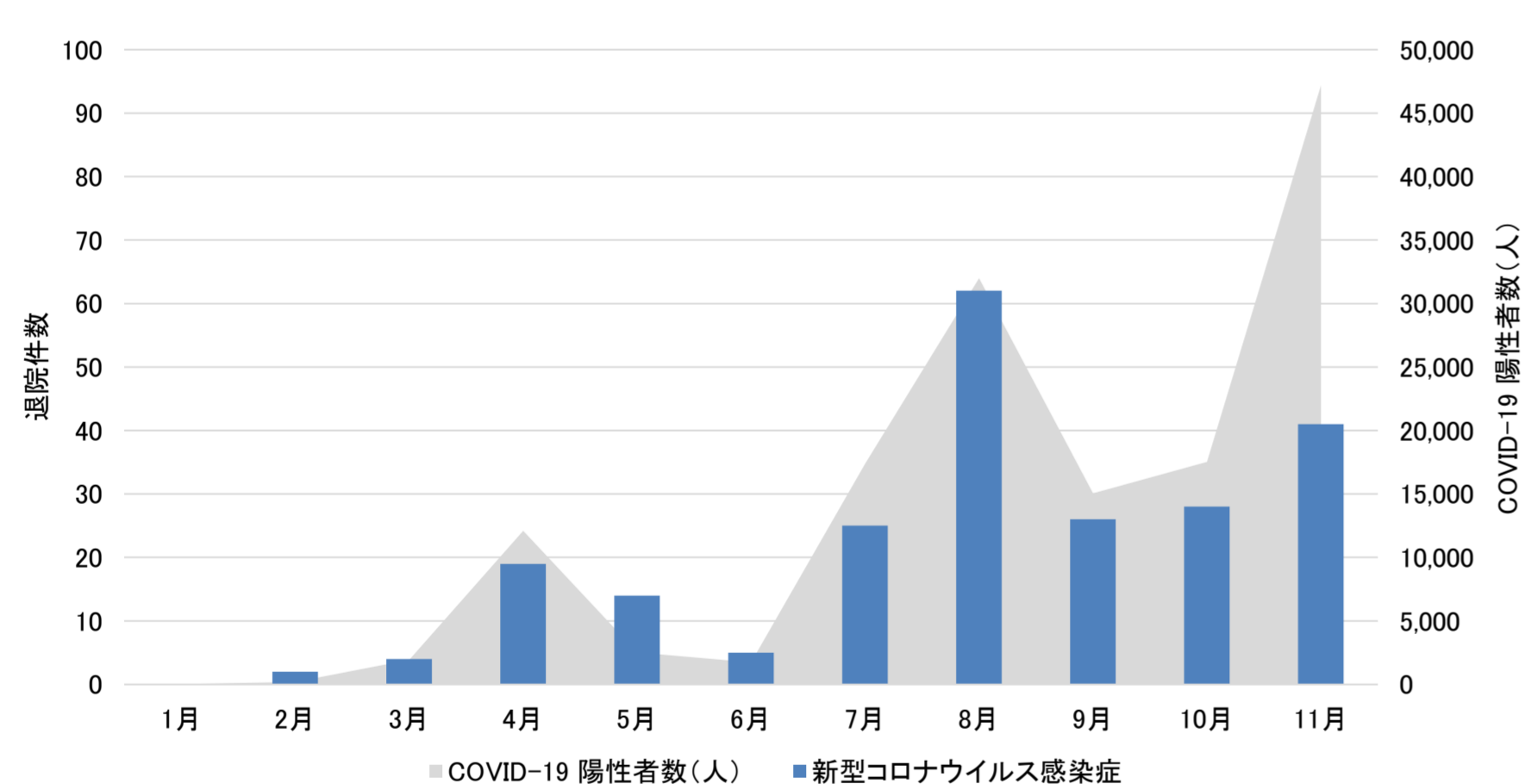


図1. 新型コロナウイルス感染症の病名が付与された退院件数

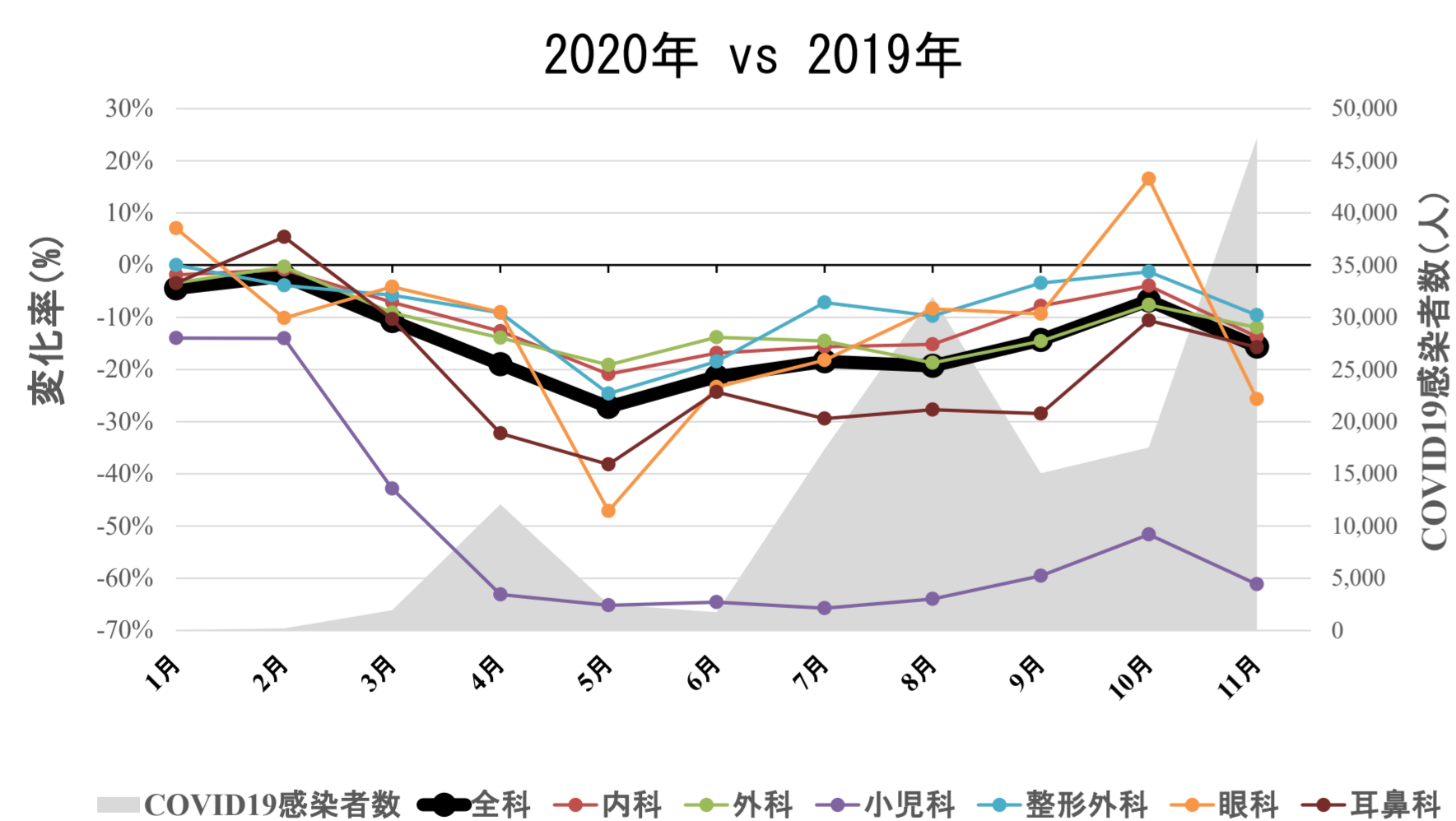


図2. 診療科別退院件数

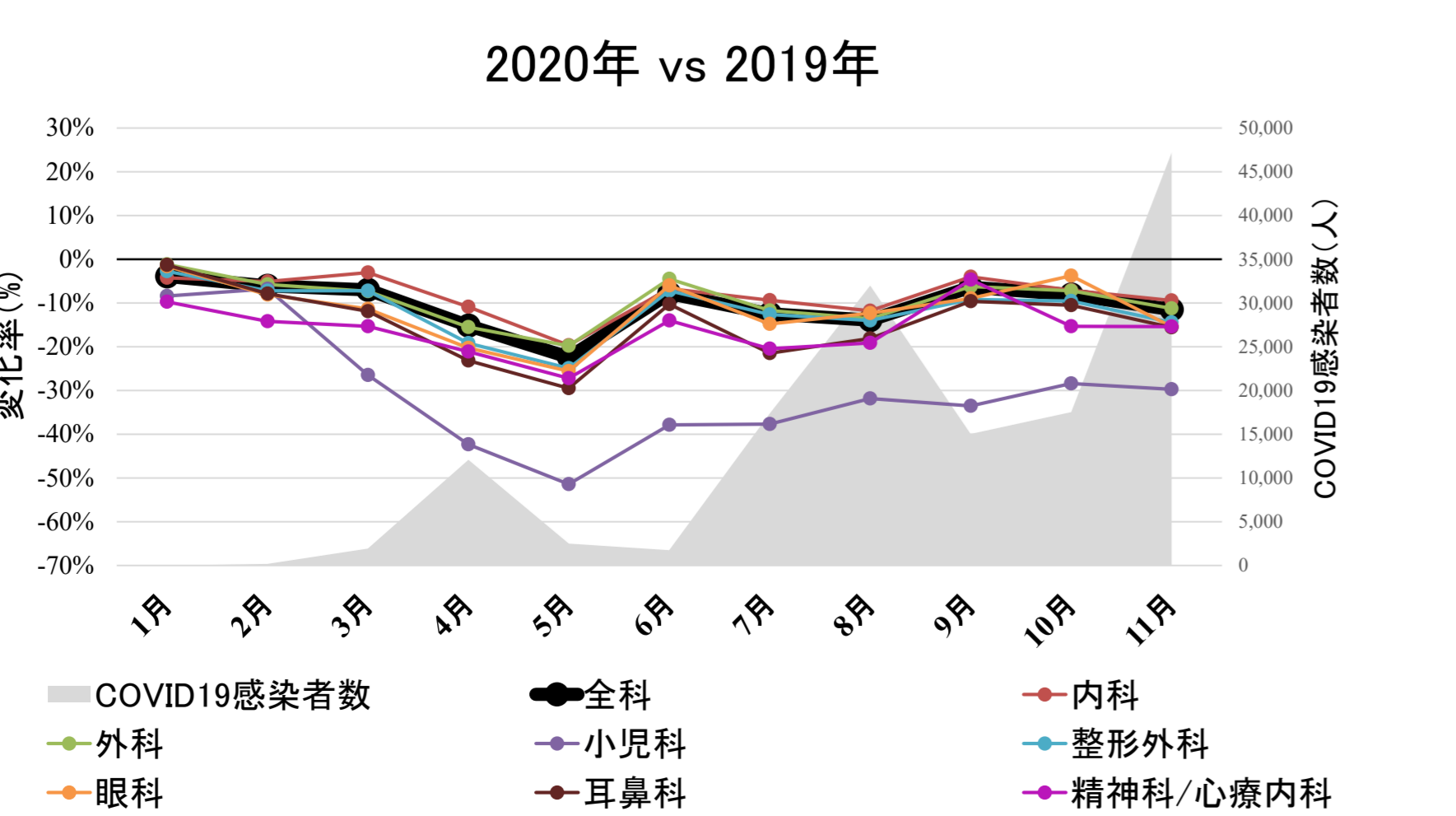


図3. 診療科別外来受診件数

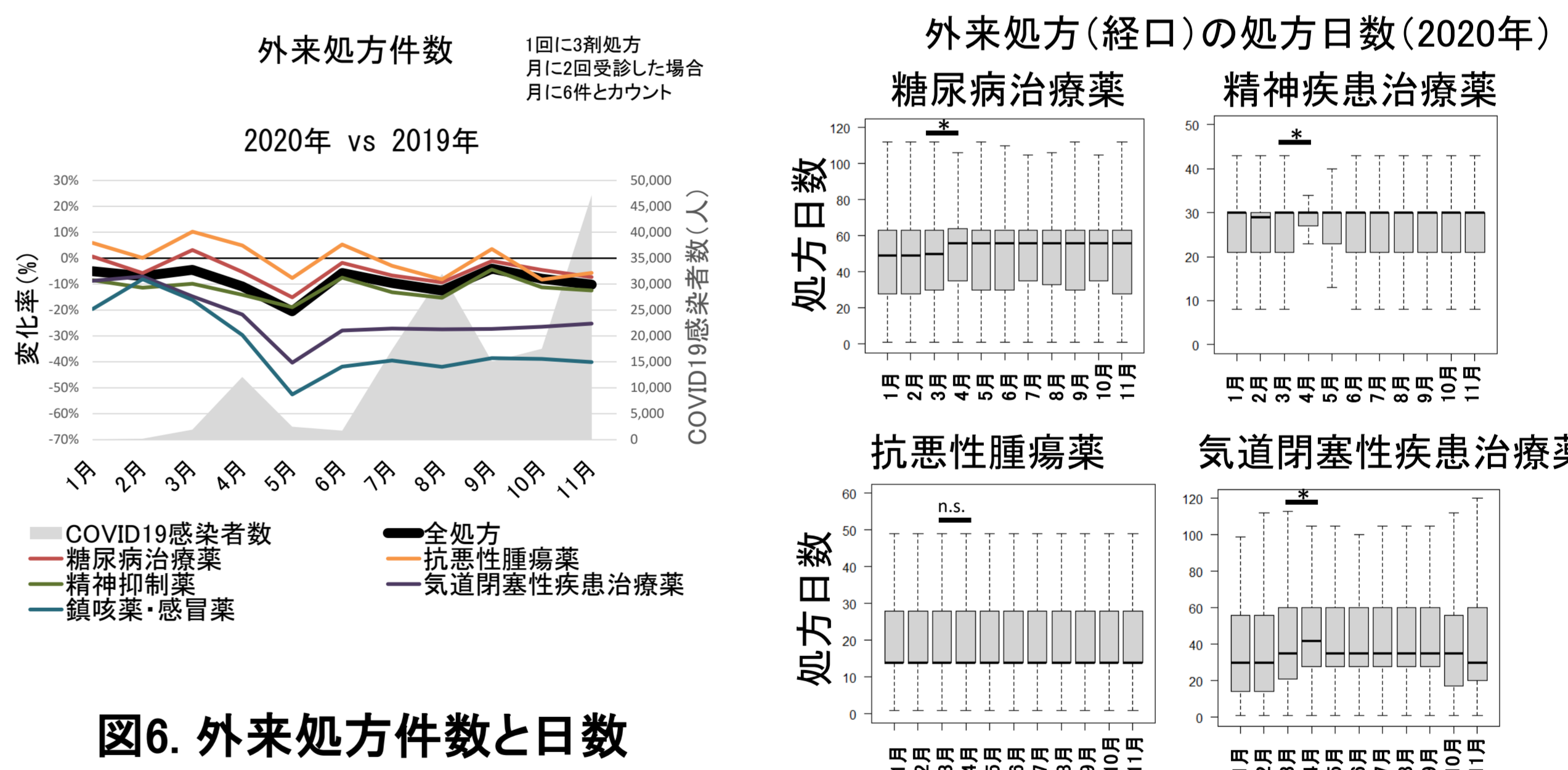


図6. 外来処方件数と日数

まとめ

- ✓呼吸器疾患入院が著減した。COVID-19飛沫感染対策によると考えられる。
- ✓海外では既に診断されたがんの治療などにも遅れが生じていることが報告されていたが、本研究では、既に診断されていたがんの治療、透析、緊急に治療を要する疾患については治療は遅滞なく行われていた可能性が高いことが示唆された。
- ✓しかし、内視鏡をはじめとする検査は大幅に減少しており、診断の遅れによる長期的な影響が懸念される。
- ✓また、外来リハビリも大幅に減少しており、フレイルの進行などの影響が懸念される。
- ✓今後、第5波や第6波の影響についても評価していく予定である。

参考文献

1. Rosenbaum L. The Untold Toll - The Pandemic's Effects on Patients without Covid-19. *N Engl J Med* 2020; 382(24): 2368-71.
2. Cookson W, Moffatt M, Rapeport G, Quint J. A Pandemic Lesson for Global Lung Diseases: Exacerbations Are Preventable. *Am J Respir Crit Care Med* 2022; 205(11): 1271-80.
3. Roth GA, Vaduganathan M, Mensah GA. Impact of the COVID-19 Pandemic on Cardiovascular Health in 2020: JACC State-of-the-Art Review. *J Am Coll Cardiol* 2022; 80(6): 631-40.

本研究は、令和2年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業「新型コロナウイルス感染症に対応した新しい生活様式による生活習慣の変化およびその健康影響の解明に向けた研究—生活習慣病の発症および重症化予防の観点から—」(JPMH20CA2046)の助成を受け、門田守人日本医学会連合会長のプロジェクトによって実施された。本発表の内容は、下記の論文に掲載されたものであり、図は下記の論文から和訳し引用した。

Yamaguchi S, Okada A, Sunaga S, Ikeda Kurakawa K, Yamauchi T, Nangaku M, Kadowaki T. Impact of COVID-19 pandemic on healthcare service use for non-COVID-19 patients in Japan: retrospective cohort study. *BMJ Open*. 2022;12(4):e060390.